

す。「ハチ」の性格に感心していた私の主人と、動物大好きな少女竹内珠恵ちゃんが同一場所のところで「ハチ」を保護して来ました。そしてオリバー先生の所で預っていたことになるしました。

ところが、能勢でホッとひと安心していたのも束の間でした。「ハチ」はパルボを発病してしまっていたのです。嘔吐と下痢をくり返して、みるみるうちに痩せ衰えてしまいました。もう立ち上がる力もありません。

4月2日茨木市の田村動物病院へ入院しました。以後7月まで丸々3か月間、点滴の注射針をつけて横たわっていたままの「ハチ」の闘病生活が始まりました。

悪いことが重なって「ハチ」は尿ほう症も併発してしまいます。極度の貧血と脱水症状が続き、10kgあった体重が6.9kgになってしまいました。まさに瀕死の状態です。安楽死のことも考えましたが、私達は「ハチ」の懸命に生きようとする力を応援することにしました。